

1. 科目名 (単位数)	障害者介護論 (2単位)	3. 科目番号	SNMP2118
2. 授業担当教員	櫻井 恵美		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	障害の種類や程度及び原因(医学的を含め)を理解し、それぞれの障害のある人の生活について、事例を通して理解していく。その中で生活支援を介護福祉士がどのように担っていくのかを具体的に事例を通して学んでいけるように展開していく。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の種類や程度及び原因(医学的を含む)症状を理解し、生活への影響を考えることができる。 2. 障害のある人の生活を理解し、介護の視点を考えることができる。 3. 障害のある人の生活とICFの概念を理解し生活環境の改善を考えることができる。 4. 介護福祉士の役割と支援の方法を理解し、幅広い連携を考えることができる。 5. 障害のある人の生活を支える社会的取り組み、及び現状を理解し、自立に向けた支援の方法を考えることができる。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内でまとめられなかったレポート、演習シート等は、次回の授業までに整理して提出して下さい。 ・授業の進行具合や、学生の理解度に応じて、課題を提示する場合があります。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 最新・介護福祉士養成講座8『生活支援技術Ⅲ』中央法規出版 2022</p> <p>【参考書】 資料の配布、その他参考書等については適宜授業内で紹介する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の種類や程度及び原因(医学的を含む)症状を理解し、生活への影響を考え、介護の視点を考えることができたか。 2. 障害のある人の生活とICFの概念を理解し生活環境の改善を考えることができたか。 3. 障害のある人の生活を支える社会的取り組み、及び現状を理解し、自立に向けた支援の方法を考えることができたか。 <p>○評定の方法 [レポート 授業への積極的参加度、を総合的に評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポート 20% 2. 授業態度 20% 3. 小テスト 60% 		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・「こころとからだのしくみ」と関連付けて学習してください。 ・障害の理解Ⅰの授業内容を整理し、理解しておくこと。 ・授業に積極的に取り組み、提出物は必ず期限内に提出してください。評定に反映されます。 ・授業内容の理解度を確認する小テストを行います。(第5、9、13、15回)テストの結果は評定に反映されます。 ・机上に携帯電話など教材以外のものを置くこと、他者の学習の迷惑になる行為は慎むこと。 ・不明な点は質問し、解決できるようにしてください。 ・授業には、グループディスカッションを取り入れます。他者の意見をよく聴き、自分の意見をしっかりと述べてください。 ・やむを得ず遅刻・早退・欠席をする場合は、必ずその理由を申し出て、授業内容やプリント等を確認すること。 		
13. オフィスアワー	授業前後の休憩時間。その他については、第1回で説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 障害の基礎的理解① 障害の概念、障害者福祉の基本理念	事前学習	シラバスを読んでおく。
		事後学習	障害の定義、障害者福祉の基本理念を振り返り、自分の障害の捉え方を確認する。
第2回	障害の基礎的理解② 障害の種類 ICFの考え方 障害について考える グループディスカッション	事前学習	障害のある人の暮らしについて、自らの体験を通して考える。
		事後学習	体験、グループディスカッションをとおして障害とはどういうものなのかを整理する。 (A4レポート用紙1枚)
第3回	障害のある人の生活の理解① 視覚・聴覚障害のある人の生活と介護の視点	事前学習	視覚障害のある人の活動制限や参加制約について、考えておく。
		事後学習	視覚障害のある人の介護の留意点を整理する。
第4回	障害のある人の生活の理解② 言語障害のある人の生活と介護の視点	事前学習	聴覚・言語障害のある人とのコミュニケーション手段について調べておく。
		事後学習	聴覚・言語障害のある人の介護の留意点を整

			理する。
第5回	障害のある人の生活の理解③ 肢体不自由（運動機能障害）のある人の生活と介護の視点	事前学習 事後学習	肢体不自由の原因疾患について調べておく。 肢体不自由（運動機能障害）のある人の介護の留意点を整理する。
第6回	障害のある人の生活の理解④ 内部障害のある人の生活と介護の視点 心臓機能障害、腎機能障害、呼吸機能障害	事前学習 事後学習	内部障害の種類と原因疾患について、調べておく。 内部障害のある人の介護に必要な知識について整理する。
第7回	障害のある人の生活の理解⑤ 内部障害のある人の生活と介護の視点 膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害	事前学習 事後学習	ストマについて調べ、ストマのある人の活動制限や参加制約について考えておく。 内部障害のある人の介護に必要な知識について整理する。
第8回	障害のある人の生活の理解⑥ 高次機能障害のある人の生活と介護の視点	事前学習 事後学習	高次脳機能障害の種類について調べておく。 高次脳機能窓外のある人の介護の留意点について整理する。
第9回	障害のある人の生活の理解⑦ 精神障害のある人の生活と介護の視点	事前学習 事後学習	精神疾患の種類について調べておく。 精神疾患のある人との関わり方について整理する。
第10回	障害のある人の生活の理解⑧ 知的機能障害のある人の生活と介護の視点	事前学習 事後学習	知的障害の程度について、調べておく。 知的障害のある人との関わり方について整理する。
第11回	障害のある人の生活の理解⑨ 発達障害のある人の生活と介護の視点	事前学習 事後学習	発達障害の種類について、調べておく。 知的障害と発達障害の違いについて整理する。
第12回	障害のある人の生活の理解⑩ 重症心身障害のある人の生活と介護の視点	事前学習 事後学習	大島分類について調べておく。 重症心身障害のある人の介護の留意点について整理する。
第13回	障害のある人の生活の理解⑪ 難病のある人の生活と介護の視点	事前学習 事後学習	難病の定義について、調べておく。 難病のある人の介護における医療との連携について整理する。
第14回	障害のある人に対する支援① 介護の基本視点、家族への支援	事前学習 事後学習	障害のある人を介護する家族を支援するサービスについて調べておく。 レスパイトケアの方法、重要性について整理する。
第15回	障害のある人に対する支援② 社会資源の利用と開発、連携と協働	事前学習 事後学習	障害のある人が活用できる社会資源について調べておく。 障害のある人が地域で安心して暮らし続けるために、地域においてどのような支援体制が整えられるか整理する。
期末試験			